

# テレビ山梨環境自主行動計画

## 【基本理念】

テレビ山梨は、現在、喫緊のテーマとなっている地球環境諸問題への取り組みの必要性・重要性を深く認識し、地球温暖化対策や自然環境の保全及び循環型社会の形成などについて、様々な機会を捉えて行動を推し進めていきます。

このため、企業活動と環境の調和に十分に配慮しつつ、テレビ山梨に勤務する全ての役職員が、この問題に対して積極的に取り組むとともに、放送局が有する情報発信力を最大限に生かした視聴者への普及・啓蒙活動を強力に推進します。

また、地域や家庭など会社を離れた状況においても、一人一人が地球環境保護に対する意識を持って行動し、拠って、安全な社会づくりに貢献する企業として社会的責任を果たします。

## 【基本方針】

- 1 環境関連法令、条例等を遵守し、放送局に課せられた社会的責任を果たします。
- 2 環境に配慮した有益な情報発信、番組制作、イベント実施に努め、環境問題に対する視聴者の意識の普及・啓蒙に努めます。
- 3 エネルギー消費量の削減に向けた省エネルギー・リサイクル活動に取り組みます。
- 4 事業活動において、万一環境に関わる諸問題が生じた場合には、直ちにその解決にあたり、再発防止のための措置を図ります。
- 5 全役職員の環境に対する意識向上を図ります。

## 【具体的な取り組み】

- 1 放送事業を通じた地球環境保全に向けての啓発活動等の推進
  - ① 民放連統一のスポットCM、会社独自の啓発用スポットCMを時期に応じて放送し、地球温暖化が環境に与える影響等について啓発を図る。
  - ② ニュース番組やニュース番組以外の自主制作番組の中で、地球環境問題に関わるニュース・話題等を積極的に取り上げ、問題提起をしていく。
- 2 省資源、省エネルギー、リサイクル等の推進によるエネルギー消費量の抑制
  - (1) 省資源・省エネルギー関係
    - ① 冷暖房用電気使用量の削減を図る。
      - ・ 夏季の「クールビズ」、冬季の「ウォームビズ」等の展開により、各事務室の温度を適温（冷房28℃、暖房20℃）に保つ。  
※「地球温暖化防止国民運動／チーム・マイナス6%」が推奨する室温
    - ② 一般電気使用量の削減を図る。
      - ・ 既存の照明設備を見直し、省エネ型の機器・蛍光管への転換を推進する。
      - ・ 昼休み等の業務時間外は、事務室の照明を切る。また、業務に必要な場所以外は、消灯する。
      - ・ コンピューター・プリンター・コピー機等の事務機器は、必要最小限なもの以外は、電源を切る。
      - ・ 給湯器、電気ポット、コーヒーメーカー等についても、必要最小限なもの以外は、電源を切る。
    - ③ 自家用車や社有車によるエネルギー消費とCO<sub>2</sub>排出量の抑制に努める。
      - ・ 急発進、急加速、空ぶかし等によるエネルギーの無駄を防ぐ。また、駐車中のアイドリングストップを徹底する。
      - ・ 社有車については、可能な範囲で低公害車、低燃費車の導入に努める。
      - ・ 自家用車通勤によるCO<sub>2</sub>排出を意識し、その軽減に努める。
    - ④ グリーン購入に努める。
      - ・ エコマーク商品やグリーンマーク商品等の省エネルギー製品の購入に努める。

- ⑤ コピー用紙の使用量削減を図る。
  - ・ 不必要なコピーはしない。また、可能なものについてはコピー用紙の両面利用を励行することにより、紙の使用量削減を図る。
- ⑥ 水資源の有効利用を図る。
  - ・ 限りある水資源を有効利用するため、日常的に節水を心がける。

## (2) リサイクル関係

- ① 廃棄物の適正な処理を推進する。
  - ・ 使用済みの紙類・ペットボトル・空き瓶・空き缶の分別処理を推進する。
- ② リサイクルの推進
  - ・ 放送用VTRの再利用等、番組制作における省資源・リサイクルの取り組みを強化する。
  - ・ 文具やプリンタのトナーなど、事務用の消耗品については、リサイクル品や中古品の利用を心がける。

## 3 地域社会との連携強化

地域社会が実施する環境に関わる諸活動に積極的に加わり、連携を密にする。

## 4 推進体制

省資源、省エネルギーに向けた上記の取り組みを実践するため、部署毎に「エコ推進委員」を置き、推進を図る。

以 上

---

平成21年4月1日 制定  
平成22年2月1日 一部改訂